

開催予告 赤十字救急法ミニ講習会「AEDを使ってみよう!」を開催します

～救命手当をいっしょに学んでみませんか?～

2004年の7月から一般市民の使用が認められ、現在では駅や公共機関など、人が多く集まる場所に設置が進んでいるAED。「一度やってみたくて、難しいのでは?」「職場にAEDが置いてあるけど、誰も使い方を知らない」そんな声をよく聞きます。

そこで兵庫県支部では一人でも多くの皆さんに、応急手当の方法やAEDの使い方を知っていただくミニ講習会を各地で開催しています。

講習会では、「いざ」という時のために、救急車が来るまでの対応として、『胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方』を学んでいただくことができます。この機会に「大切ないのちを守る正しい知識と技術」を身につけてみませんか?

また、講習会と併せて赤十字の活動紹介パネルの展示、子ども救護服・ナース服を着ての記念撮影コーナーも設置します。多くの皆さまのお越しをお待ちしております。

- 開催日 2月11日(火・祝)
- 開催時間 10:00～16:00 (1講習10分～15分)
- 開催場所 イオンモール姫路大津 1階オアシスコート
- 参加費 無料(どなたでもご参加いただけます。)



ポスター展示 ポスターコンクール受賞作品を各地で展示!

昨年7月～9月に県内の小・中・高等学校、特別支援学校を対象に募集を行った赤十字活動推進ポスターコンクール。受賞作品を県内各地で展示しています。1月は、姫路みゆき献血ルーム、アスピア明石に展示させていただき、児童・生徒の皆さんが一生懸命描いた、明るく元気溢れる作品を地域の皆さんにご覧いただきました。



姫路みゆき献血ルーム

※展示スペースの都合上、全ての作品を展示できない場合があります。
※日程は変更する可能性があります。随時ホームページをご覧ください。

今後の展示スケジュール

- 2月 5日(火)～2月13日(木) 新長田鉄人前献血ルーム
- 2月18日(火)～2月28日(金) 神戸赤十字病院
- 3月 2日(日)～3月30日(日) 柏原赤十字病院

血液事業 兵庫県日赤有功会からのプレゼント

～献血者記念品「防災関連グッズ:緊急用呼子笛」を提供～

兵庫県日赤有功会の様々な赤十字活動への支援の一つに血液事業支援があり、今年は献血者の皆さまへの記念品として「緊急用呼子笛」(災害時に居場所を伝えるのに役立つホイッスル)を提供いただきました。

防災意識の喚起を含め「1.17あの日を忘れない!!献血キャンペーン」として、県下の各献血場所で、輸血用血液の確保が非常に困難となる厳寒期に、輸血医療を支えてくださる献血者の皆さまへの感謝の気持ちを込めてプレゼントしました。

近い将来に発生が予測されている南海トラフ大地震や、各地で自然災害が頻発しているなかで、この度の献血ご協力や記念品としての「緊急用呼子笛」が、災害に対する備えを見つめ直す機会となれば幸いです。



ひょうごの赤十字

2014 FEBRUARY 2月



- 赤十字防災ボランティア総合訓練「災害対応力と身につけよう!!」を開催します
- 「NHK海外たすけあい募金」へのご協力ありがとうございました!!
- 1.17は忘れない。「ひょうご安全の日」
- 赤十字救急法ミニ講習会「AEDを使ってみよう!」を開催します
- ポスターコンクール受賞作品を各地で展示!
- 兵庫県日赤有功会からのプレゼント

【写真説明】①海外たすけあい街頭募金(JR三宮駅) ②1.17ひょうごメモリアルウォークでの炊き出し(兵庫県赤十字奉仕団) ③ポスター展示(姫路みゆき献血ルーム)

ご参加ください!

「ひょうご安全の日」赤十字防災ボランティア総合訓練「災害対応力と身につけよう!!」を開催します

阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承する「ひょうご安全の日」の趣旨を踏まえ、防災・減災に寄与する一環として、地域赤十字奉仕団、赤十字防災ボランティア等の皆さんによる防災ボランティア総合訓練を開催します。

訓練後には、防災に役立つAEDを使った心肺蘇生や三角巾を使ったきずの手当、担架搬送、無線通信などの体験コーナーや炊き出しなどを行います。多数の皆さまのご来場をお待ちしています。(参加費無料)

日時 2月16日(日) 12:00～14:00
場所 兵庫県立北条高等学校(加西市段下町847-5)



日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨海海岸通1丁目4番5号
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990
http://www.hyogo.jrc.or.jp/

「NHK海外たすけあい募金」へのご協力ありがとうございました!!



支部長へ目録を贈る兵庫県赤十字奉仕団の北野委員長

12月1日(日)～25日(水)の期間に実施された「海外たすけあい募金」。

兵庫県日赤有功会や兵庫県赤十字奉仕団等の皆さまをはじめ、県内の主要駅での街頭募金などを通して、本年度も多くの方々からの気持ちの込められた寄付をいただきました。

25日には兵庫県赤十字奉仕団の北野委員長から、同奉仕団からの寄付金として202万円の目録が井戸支部長に手渡されました。ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

募金の総額は別表のとおりです。

今年度ご協力いただいた募金 単位(円)

兵庫県赤十字奉仕団	2,022,380
兵庫県日赤有功会	2,678,369
特別赤十字奉仕団	211,500
青少年赤十字加盟校	128,272
地区・分区、その他	483,618
NHK	602,290
街頭募金	397,896
兵庫県支部・施設	607,658
合計	7,131,983

～街頭募金の様子～



JRCや奉仕団の皆さんによる呼びかけ



皆さまからの寄付金は、世界中で苦しむ人々の命と健康、尊厳を守るため、主に3つの分野の活動に使われます。

●紛争で苦しむ人々への支援

シリアやアフガニスタンなど、宗教や民族対立、政府軍と反政府軍との衝突など、世界で起こる武力紛争による犠牲者の緊急救援に加え、紛争の長期化による避難民への支援をします。



負傷者への医療支援(南スーダン)

●災害で苦しむ人々への支援

ベトナム災害対策事業やネパール地域防災事業など、地震や台風などの大規模自然災害に際して、発災直後の緊急救援に加え、中・長期的な復興支援を行い、あわせて将来の災害に備えるための支援をします。



皮膚に炎症を起こしてしまった赤ちゃんを手当て(パキスタン)

●病気から身を守るための支援

ケニア地域保健強化事業やウガンダ母子保健事業など、不衛生な水や生活環境、感染症、栄養不足などで健康が脅かされている発展途上国の人々の命と健康を守るため、医療、保健、衛生分野での中・長期的な支援をします。



手洗いで病気の予防(ハイチ)
©Japanese Red Cross/Keiichiro Asahara

1.17は忘れない。「ひょうご安全の日」

～防災意識を新たに、来るべき災害に備えるために～

阪神・淡路大震災から19年。兵庫県では、震災の経験と教訓を継承し、いつまでも忘れることなく、安全で安心な社会づくりを期する日として1月17日を「ひょうご安全の日」と定めています。この日の行事のひとつとして開催された「1.17ひょうごメモリアルウォーク2014(※)」。当支部では1階駐車場を休憩所として開設し、長い道のりを歩いて来られたウォーク参加者の皆さんに、お味噌汁の炊出しをしました。

また、阪神・淡路大震災と東日本大震災のパネル展示等を行い、日本赤十字社が行う災害救護活動や復興支援活動を紹介しました。阪神・淡路大震災のパネルコーナーでは、足を止めて観られている方も多く、当時のことを振り返りながらご覧になっておられました。



温かいお味噌汁の提供



たくさんの方々にご覧いただきました

一方、なぎさ公園では、東日本大震災で大きな被害を出した「津波」に対する訓練を取り入れた住民参加型の防災訓練を、神戸海上保安部や消防局などの関係機関と連携して実施し、負傷者の救護にあたりました。

訓練後には、AEDを用いた心肺蘇生の体験講習も実施。参加者からは「怪我している人や意識がない人に対して、何をすればよいか分かってよかった」という感想が聞かれました。



各機関と連携し、負傷者を救護所テントへ誘導



救護所テント内での治療

また、同会場の交流ひろばでは、兵庫県赤十字奉仕団の皆さんによる豚汁の炊出しが行われ、来場者に無料で提供しました。手作りの野菜を持ち寄って作った豚汁600食はなんと開始から25分足らずで終了。野菜たっぷりのできたての豚汁に、皆さん心も体も温まった様子でした。この日、炊出しを行った奉仕団は、「まごころも一緒に豚汁に込めました。皆さんに喜んでもらえてよかったです。『災害が起きたら役立つ奉仕団でありたい。』常にその思いで行動しています。」と思いを述べられていました。



大釜で炊出し



まごころがこもっています

※阪神・淡路大震災時の追体験を行い、風化しがちな防災意識を新たにするとともに、来るべき災害に備えるため、付近の震災モニュメントを巡りながら緊急時の避難路、救援路として整備されている山手幹線等を歩く。